

令和4年度（公財）東京都体育協会 事業報告

I 競技スポーツの強化と推進に関する事業

区分	事業名	内 容 説 明
1 競技力向上事業	(1) 国体候補選手強化事業 ＜定款第4条第1項－5号＞	◆対象人員や競技成績等に応じて各競技団体に強化費を交付し、選手強化事業を実施 ◇対象競技：国体正式競技（本大会・冬季大会計41競技） ◇対象期間：年間 ◇強化実績：延べ1,844日間、365事業、本大会・関プロ大会の東京都代表選手・監督等2,352名を強化
	(2) ジュニア選手・育成強化事業 ＜定款第4条第1項－3号、6号＞	◆次世代を担うジュニア（小学生・中学生・高校生）選手を対象に、育成（発掘）・強化及び必要な研修を実施 ◇対象競技：国体正式競技41競技及び東京都体育協会正式加盟の8種目 ◇対象期間：年間 ◇強化実績：延べ1,479日間、421事業、選手・監督等8,760名を強化
	(3) 国体選手健康調査チェック等事業 ＜定款第4条第1項2号、7号、9号＞	◆スポーツ医・科学委員会を中心とする公認スポーツドクターが、健康状態（既往症、持病、コンディショニング、自覚症状等）のチェック及びアンチ・ドーピングに関する指導・啓発を実施 また、スポーツファーマシストによるうっかりドーピング防止（薬の服用による）の講習を実施 ◇対象競技：国体正式競技（本大会・冬季大会計41競技） ◇対象期間：年間 ◇場所：各競技団体指定会場 ◇事業実績 (1) 国体候補選手健康調査 1,055名 (2) スポーツ医・科学委員会の開催 令和5年3月8日（水） (3) アンチ・ドーピング研修 第1回：令和4年8月25日（木） 63名※1 (4) その他競技力向上に関する研修の開催 第2回：令和4年9月24日（土） 46名参加 第3回：令和4年12月12日（月） 43名参加 第4回：令和5年3月13日（月） 17名参加※2 ※1 YouTube でアーカイブ限定配信 ※2 スポーツ・インテグリティ推進事業と共催で実施し、経費は、スポーツ・インテグリティ推進事業費から支出
	(4) オリンピック等日本代表候補選手強化事業（戦略的競技力強化事業） ＜定款第4条第1項－3号＞	◆国際大会等への出場が見込まれる東京都選手及びその指導者の強化活動を支援する。 ◇対象競技：国際総合競技大会派遣該当競技・種目（37競技） ◇対象期間：年間 ◇強化実績：延べ161事業、選手・監督等452名を強化
	(5) 指導者育成・スポーツ専門人材活用事業 ＜定款第4条第1項－2号、3号＞	◆強化練習等における帯同する指導者、トレーナー、ドクター等の派遣費用の支援、スポーツ医科学スタッフや国際的に活躍する指導者等の招聘を支援する。 ◇対象競技：国体正式競技41競技及び東京都体育協会加盟の8種目団体 ◇対象期間：年間 ◇強化実績：延べ60事業、選手・監督等2,130名を強化
	(6) ジュニア育成地域推進事業 ＜定款第4条第1項－2号、3号＞	◆地域のスポーツ振興と併せ地域におけるジュニアスポーツのすそ野を広げることを目的として実施。 ①地区体育協会事業 スポーツ教室や大会、強化練習等を実施 ・対象競技：国体正式競技（41競技）、公開競技・特別競技（6競技）、オリンピック競技（4競技）を中心とする競技 ・実績：58地区 806事業 52,133名参加
	(7) トップアスリート発掘・育成事業 ＜定款第4条第1項－3号＞	◆高い運動能力を持つ中学生を体力テスト等で識別（選抜）し、競技人口の少ない7競技（ローイング、ボクシング、レスリング、ウエイトリフティング、カヌー、アーチェリー、自転車）を体験させ、最も適性のある競技に転向することで、トップを目指すように育成 ①育成プログラム（対象：前年度識別された第13期中学3年生） i スポーツ教育プログラム、ii トレーニングプログラム、iii 競技別プログラム 期間：5月～12月 修了者23名 場所：日本大学文理学部 他 ②識別プログラム（都内在住の中学2年生から第14期生の選抜） 第一次選考（体力テスト）／第二次選考（競技体験）／最終選考（面接） 応募者202名 合格者28名 なお、トップアスリート修了生は、第77回国民体育大会本大会における男女総合成績1位を達成することに貢献した。

区分	事業名	内容説明
1 競技力向上事業	(8) スポーツ・インテグリティの理解促進事業 1 ＜定款第4条第1項－8号＞	◆都内競技団体・指導者・選手等に対し、スポーツに関わる者としての責任を再確認することにより、事故防止に資するための研修を実施し、スポーツ・インテグリティの推進を図る。 ◇指導者向け研修 ①第1回 基調講演：「アンガー（怒り）と上手に向き合う方法」 講師：渋谷 崇行（桐蔭横浜大学教授/スポーツフォーキッズジャパン代表） 日時：令和4年12月9日（金）18:30～20:00 方法：オンライン（Zoomウェビナー）及び集会 会場：日本青年館ホテル カンファレンスルームイエロー 当日人数：136名（オンライン113名、集会23名） アーカイブ視聴者：272名（1月24日から3月31日まで集計） シンポジウム：「暴力・暴言（体罰）・ハラスメントを無くしていくために」 パネリスト：島沢 優子（スポーツ・教育ジャーナリスト） 田中 ウルヴェ京（スポーツ心理学者（博士）） 渋谷 崇行（桐蔭横浜大学教授） 全体司会：江口 桃子（フリーアナウンサー／一般社団法人日本スポーツマンシップ協会理事） ②第2回 第1部 講演「選手とコーチの人生が豊かになるコーチングを目指して」 講師：恩塚 亨（バスケットボール女子日本代表チームヘッドコーチ） 第2部 インタラクティブセミナー 講師：恩塚 亨（バスケットボール女子日本代表チームヘッドコーチ） 吉田 亜沙美（元バスケットボール女子日本代表キャプテン） 司会：江口 桃子（フリーアナウンサー／一般社団法人日本スポーツマンシップ協会理事） 日時：令和5年3月8日（水）18:30～20:00 方法：オンライン（Zoomウェビナー）及び集会 会場：日本青年館ホテル カンファレンスルームイエロー 当日人数：127名（オンライン92名、集会35名）
	(8) スポーツ・インテグリティの理解推進事業 2 ＜定款第4条第1項－8号＞	◇加盟団体向け研修 日時：令和5年2月10日（金） 方法：オンライン（Zoomミーティング）及び集会 会場：日本青年館ホテルカンファレンスルームイエロー 参加者：当日人数 191名（オンライン171名、集会20名） アーカイブ視聴者 278名（集計期間2月22日～3月31日） 講演「スポーツ団体の不正経理問題」 講師 大橋卓生氏（弁護士） ◇選手等向け研修 ① 第1回 日時：令和4年9月24日（土） 方法：国体結団式で、スポーツ・インテグリティについての資料配布による情報提供 ② 第2回 日時：令和5年3月13日（月） 会場：日本青年館ホテルカンファレンスルームイエロー 参加者：17名 講演「デュアルキャリアを考える」 講師 高橋 正則（日本大学文理学部教授）
2 国体推進事業	(1) 第77回・特別国民体育大会 東京都予選会 ＜定款第4条第1項－5号＞	◆第77回・特別国民体育大会冬季大会（関東ブロック大会含）に派遣する東京都代表選手を選考・決定するために、各競技別に東京都予選会を実施 ①陸上競技等 37競技 参加者 延べ22,037名 令和4年4月～7月 駒沢オリンピック公園運動場、他 ②スケート、アイスホッケー、スキー競技 参加者 延べ799名 令和4年10月～令和5年1月 ダイブドリンコアイスアリーナ、他
	(2) 第77回・特別国民体育大会 関東ブロック大会への 東京都選手団の派遣 ＜定款第4条第1項－5号＞	◆第77回国民体育大会及び特別国民体育大会冬季大会の地区予選会である関東ブロック大会へ東京都選手団を派遣 ①第77回関東ブロック大会（31競技） 東京都 他 令和4年6月11日（土）～8月30日（火） 参加者746名 ②特別関東ブロック大会（アイスホッケー競技） 東京都東大和市 他 令和4年12月9日（金）～18日（日） 参加者52名

区分	事業名	内 容 説 明
2 国体推進事業	(3) 第77回・特別国民体育大会 東京都選手団の派遣 <定款第4条第1項-第5号>	◆第77回国民体育大会本大会に東京都選手団を派遣 ①第77回 本大会(栃木県) 陸上競技等 38競技 令和4年10月1日(土)～10月11日(火) 参加者746名 栃木県宇都宮市 他 東京都選手団団長 山本博 以下704名 ★《第77回大会総合成績》 男女総合成績1位、女子総合成績1位 ※競技別男女総合1位(2競技) (水泳・柔道) ◆特別国民体育大会冬季大会に東京都選手団を派遣 ②特別 冬季大会 i. スケート・アイスホッケー競技会 (青森県) 令和5年1月28日(土)～2月5日(日) 青森県八戸市 他 東京都選手団団長 山本博 以下79名 ★スケート:男女総合6位、女子総合7位 アイスホッケー2位 ii. スキー競技会 (岩手県) 令和5年2月17日(金)～2月20日(月) 岩手県八幡平市 東京都選手団長 植田昌利 以下55名 ★スキー:男女総合17位、女子総合13位

II 生涯スポーツの振興と普及に関する事業

区分	事業名	内 容 説 明
1 都民体育大会の開催	(1) 第75回都民体育大会 ～春季大会～ <定款第4条第1項-1号、2号>	◆区市町村対抗方式で、夏季、冬季、春季の各季に分けて順次実施する。春季で一巡する。 年間総合成績で男子は高松宮殿下記念杯、女子は高松宮妃殿下記念杯を競う。 ◇令和4年5月1日(日)～令和4年6月18日(土)駒沢オリンピック公園総合運動場他 ① 正式競技 陸上競技等 23種目 ② 公開競技 ハンドボール競技等 5種目 ③ 公開演技 ラジオ体操 1種目 参加地区54地区 参加者11,116名 ★第75回男子総合 1位(高松宮殿下記念杯)大田区 2位 世田谷区/3位 江東区 女子総合 1位(高松宮妃殿下記念杯)大田区 2位 練馬区/3位 世田谷区
	(2) 第76回都民体育大会 ～夏季大会～ <定款第4条第1項-1号、2号>	① 水泳競技会:令和4年7月18日(月・祝) 東京辰巳国際水泳場 参加地区21地区 参加者216名 ★男子 1位 北区/女子 1位 北区 ② ゴルフ競技会:令和4年10月12日(水)・13日(木) 立川国際カントリー倶楽部 参加地区37地区 参加者284名
	(3) 第76回都民体育大会 ～冬季大会～ <定款第4条第1項-1号、2号>	① 駅伝競走:令和5年2月23日(木・祝) 葛飾区荒川河川敷道路 参加地区21地区 参加者201名 ★1位 八王子市 ② スキー競技会:令和5年3月4日(土)～5日(日) 長野県菅平高原裏太郎ゲレンデ ファミリーコース 参加地区38地区 参加者344名 ★男子 1位 杉並区/女子 1位 豊島区
2 都民体育大会・東京都障害者スポーツ大会合同開会式	<定款第4条第1項-1号2号、9号>	◆障害のある人も、ない人も、一緒にスポーツを楽しむことができる社会の実現に取り組むというスポーツ祭東京2013での「東京都ユニバーサルスポーツ宣言」のレガシーとして、第75回都民体育大会及び第23回東京都障害者スポーツ大会合同開会式を開催。互いのスポーツ競技への理解を深め、交歓できる機会を創出。 ◇日時:令和4年5月8日(日) 東京体育館(メインアリーナ) ◇総司会:笠井信輔、アシスタント:坂本梨紗 ゲスト:水谷 準(オリンピック)、高田千明(パラリンピアン)、大森 盛一 ラジオ体操指導:多胡 肇、アシスタント:戸塚 寛子 ◇交歓プログラム:卓球デモンストレーション及びスポーツ交流、 ブラインドランニングデモンストレーション及びスポーツ交流 ◇健常者と障害者が一緒に行う入場行進は465名が参加

区分	事業名	内容説明
3	都民生涯スポーツ大会の開催 ＜定款第4条第1項－1号、2号＞	◆中・高年齢対象のスポーツ大会で、互いに競い合いながらスポーツを楽しむ生涯にわたるスポーツ活動のより一層の普及・振興を図る。 ◇令和4年8月21日(日)～12月4日(日) 東京辰巳国際水泳場他 ◇16競技50地区 参加者4,743名 (台風接近に伴い1競技事前中止) ◇対象年齢の基準は競技ごとに設定。35歳以上が主流
4 シニアスポーツの振興	(1) 第27回シニア健康スポーツフェスティバルTOKYOの開催 ＜定款第4条第1項－2号、7号＞	◆都内在住59歳以上のシニア世代が対象。スポーツや健康づくり活動をとらえて社会参加や仲間づくり、世代間交流の促進とスポーツ実施率の更なる向上を目指した都民参加型スポーツ大会 上位入賞者は、翌年のねんりんピック東京都代表選手の選考対象となる。 ◇令和4年10月12日(水)～11月23日(水・祝) 駒沢オリンピック公園他 ◇10種目: ラージボール卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、マラソン、弓道、剣道、サッカー ◇参加者2,340名
	(2) 全国健康福祉祭(ねんりんピック)東京都選手団の派遣 ＜定款第4条第1項－2号、7号＞	◆第34回全国健康福祉祭(ねんりんピック) 神奈川・横浜・川崎・相模原大会 (主催: 厚労省・(一財)長寿社会開発センター・神奈川県)に東京都選手団を派遣 ◇派遣期間 令和4年11月11日(金)～11月15日(火) 神奈川県内各競技会場 ◇参加対象60歳以上。東京都選手団団長 中嶋正宏 以下296名 スポーツ交流大会(10種目)、ふれあいスポーツ交流大会(14種目) 文化交流大会(3種目) 派遣選手(279名)・役員(17名)
	(3) シニアスポーツ振興事業 ＜定款第4条第1項－2号、7号＞	◆東京都の高齢者のスポーツ実施率の向上と、健康維持・増進に寄与するため、地区体育協会等が主催者となり、シニア世代を対象としたスポーツ競技会、講演会、講習会等の事業を実施 ◇対象 主として60歳以上の都民 ◇期間 年間 ◇会場 都内他 ◇参加人数 54地区 368事業 19,158人 (新型コロナウイルスにより33事業中止)

Ⅲ 地域におけるスポーツ振興体制の整備充実等に関する事業

区分	事業名	内容説明
1 地域スポーツ振興体制の充実	(1) 加盟団体代表者会議 ＜定款第4条第1項－2号、8号＞	(1)開催日: 令和4年6月10日(金)に開会。 ◇議題等 ①令和3年度事業報告並びに決算書(財務諸表)(案)について ②理事・監事の選定結果について ◇情報提供 東京都生活文化スポーツ局から (2)開催日: 令和5年3月7日(火)に開会。 ◇議題等 ①令和5年度事業計画並びに収支予算(財務諸表)(案)について ②令和5年度資金調達及び設備投資の見込みについて ③その他 ◇情報提供 東京都生活文化スポーツ局から
	(2) 地区体育協会等の振興 ＜定款第4条第1項－1号、2号＞	◆地区体育協会、種目団体、学校体育連盟に対し、規模に応じて区分を設け、振興費を交付して組織強化と事業推進に役立てている。 ◇対象 ①地区体育協会 59団体 ②学校体育連盟 3団体 ③種目団体 8団体
	(3) 幹部中央研修会 ＜定款第4条第1項－2号、8号＞	◆加盟団体の幹部役員を対象に、最新かつ重要な課題解決の方策や今後の事業のあり方等について、講演や研究協議、事例発表等の研修を実施 ・日時: 令和4年12月16日(金) 15:30～17:30 ・方法: オンライン配信及び集会 ・参加者数: 集会58名、オンライン配信61名 ・内容 ①主催者挨拶 中嶋 正宏(公益財団法人東京都体育協会 理事長) ②講演1「不適正な会計処理及び再発防止策について」 東京都及び東京都体育協会 講演2「スポーツ団体の不正経理の防止のために」 パークス法律事務所 大橋 卓生弁護士

区分	事業名	内容説明
2 顕彰事業	(1) 生涯スポーツ功労者 ＜定款第4条第1項－8号＞	◆スポーツの振興に貢献し、功績のあった者。 ◇実施日 令和4年5月8日(日) ◇場所 東京体育館 ◇表彰人数 63名
	(2) 生涯スポーツ優良団体 ＜定款第4条第1項－8号＞	◆スポーツの普及活動と地域のスポーツ振興に功績顕著な団体 ◇実施日 令和4年5月8日(日) ◇場所 東京体育館 ◇表彰団体数 50団体
	(3) 国体優勝等選手表彰 ＜定款第4条第1項－8号＞	①国体優勝団体(国体で男女総合成績第1位の競技団体) ◇表彰団体数 2団体 ②特別功労者 (国体等で世界新記録又は日本新記録で優勝した選手) ◇対象者無し ③国体優勝功労者(国民体育大会で優勝した選手、監督) ◇表彰人数 124名 ④国体優秀選手(国民体育大会で入賞した選手) ◇表彰人数 335名 実施日 令和4年11月26日(土) 場 所 東京都庁第一本庁舎5階 大会議場
	(4) 中学校・高等学校全国大会優勝者、優勝チーム ＜定款第4条第1項－8号＞	◆東京都中学校体育連盟及び東京都高等学校体育連盟の所属学校生徒で、全国中学校体育大会及び全国高等学校総合体育大会等の優勝者、優勝チームを表彰 ①優勝チーム 表彰校 11校 ②優勝者 表彰者 141名
	(5) 体育優良生徒表彰 ＜定款第4条第1項－8号＞	◆中体連、高体連の生徒で体育、学業ともに優秀な者(令和4年度卒業生) ①中学校 1,463名 ②高等学校 765名
	(6) 永年勤続功労者表彰 ＜定款第4条第1項－8号＞	◆本協会役員で、永年にわたりスポーツ振興に尽力し、功績顕著な者 ◇該当者なし
3 公認スポーツ指導者の養成と研修	(1) 公認スポーツ指導者養成講習会 (コーチ1・コーチ2) ＜定款第4条第1項－4号、8号＞	◆地域スポーツ組織での競技の専門的な技術指導、スポーツクラブ等の育成・運営指導、スポーツ大会等の企画・運営を行う指導者養成を目的とした「スポーツ指導者の知識・技能審査事業」 ① コーチ1(専門科目) ・JSPO委託: バドミントン16名、空手道81名 ・独自開催: バレーボール47名、軟式野球25名、ソフトボール74名 フェンシング41名、山岳21名、ソフトテニス39名 〈中止〉ボウリング、ゲートボール 新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止 ② コーチ2(共通科目Ⅱ) ・JSPO委託: 33名(受講済み) ③ コーチ2(専門科目) ・JSPO委託: 卓球10名 ・独自: スポーツクライミング7名 〈中止〉バドミントン、ホッケー 新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止
	(2) スポーツ指導者派遣事業 (人材バンク) ＜定款第4条第1項－4号、8号＞	◆東京都公立学校の学校部活動の外部指導者の確保を目的として、日本スポーツ協会公認指導者の活動機会の拡充、資質の向上を図るため、人材バンクへの登録・紹介等を東京学校支援機構(TEPRO)の委託を受けて実施 ・広報業務 東京都登録指導者への事業チラシ配布(約10,000部) ・指導者紹介事業 ・相談業務 ・研修業務 年間2回(インタラクティブ研修、オンデマンド研修)
	(3) スポーツ東京案内事業 指導者派遣事業 ＜定款第4条第1項－4号、8号＞	◆地域スポーツの活性化へ寄与するとともに、スポーツを楽しむ機会を創出することを目的として、(公財)東京都スポーツ文化事業団と連携し、区市町村が主催するスポーツ教室等に指導者を派遣 ・派遣実績: 12件

区分	事業名	内容説明
4	日中・日韓スポーツ交流事業 ＜定款第4条第1項-2号、7号＞	◆韓国、中国において、地域レベルにおけるスポーツ交流を実施し、相互理解を深め友好親善とスポーツ振興を図るために実施 墨田区・西大門区親善少年サッカー交流大会 ※新型コロナウイルスの為に中止
5	(1) 登録の推進と地区本部の振興 ＜定款第4条第1項-2号、6号＞	ア 役員・指導者・団員数に応じ、地区本部37地区に対する振興費配分 前年度の状況: 令和4年10月19日確定 300団 指導者数1,582名、役員121名、スタッフ919名、団員数8,570名、地区本部段階役員46名、地区本部段階スタッフ48名 イ ブロック別の活動に対する振興費の配分 城西、城南、城北の3ブロック
	(2) 指導者、リーダー等の養成と研修 ＜定款第4条第1項-2号、6号＞	ア スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会 第一会場・講義・検定試験: 期 日: 令和4年7月中旬～8月31日(オンライン) ・グループワーク: 期 日: 令和4年9月11日(日)9:30～12:00 会 場: 日本青年館ホテル8階 カンファレンスルームイエロー 参加者: 55名(修了者51名) 第二会場・講義・検定試験: 期 日: 令和4年7月中旬～8月31日(オンライン) ・グループワーク: 期 日: 令和4年9月24日(土)9:30～12:00 会 場: ステーションコンファレンス池袋 12階 Room1 参加者: 43名(修了者42名) 第三会場・講義・検定試験: 期 日: 令和4年10月初旬～12月31日(オンライン) ・グループワーク: 期 日: 令和4年9月11日(日)9:30～12:00 会 場: 日本青年館ホテル8階 カンファレンスルームイエロー 参加者: 58名(修了者55名) 第四会場・講義・検定試験: 期 日: 令和4年10月初旬～12月31日(オンライン) ・グループワーク: 期 日: 令和4年9月11日(日)9:30～12:00 会 場: トヨタドライビングスクール東京 本館H301(ホール) 参加者: 32名(修了者32名) イ ジュニアリーダースクール等の開催 ・ジュニアリーダースクール 期 日: 令和5年3月11日(土)～12日(日) 1泊2日(事前・事後課題あり) 会 場: BumB東京スポーツ文化館 参加者: (ジュニア・リーダー認定者): 7単位団 20名 スタッフ: リーダー7名、アシスタントリーダー1名、指導者5名、事務局3名 ・東京都リーダー研修会 期 日: 令和5年1月28日(土) 会 場: BumB東京スポーツ文化館 参加者: 指導者3名、リーダー会員3名、参加者2名 ウ 派遣事業の実施及び開催 ・関東リーダー研究大会 期 日: 令和4年10月15日(土)～16日(日) 1泊2日 場 所: 千葉県 県立水郷小見川青少年自然の家 参加者: 指導者1名(島崎陽太郎)、リーダー1名(山口翔大) ・シニア・リーダースクール 期 日: 令和4年8月9日(火)～12日(金) 3泊4日 場 所: 国立中央青少年交流の家 派遣者: なし ・全国リーダー連絡会 期 日: 令和4年6月11日(土) 場 所: オンライン開催 参加者: 指導者1名(郷 地洋)、リーダー1名(島崎陽太郎)

区分	事業名	内容説明
5 スポーツ少年団の組織拡充と活動促進	(3) 少年団交流活動の推進 ＜定款第4条第1項－2号、6号＞	ア 東京都スポーツ少年団競技別交流大会の開催 実施競技：ミニバスケットボール・軟式野球・サッカー・バレーボール・バドミントン・なぎなた・空手道 期 間：令和4年5月21日(土)～令和4年7月18日(月/祝) 場 所：駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館・屋内球技場・軟式野球場・補助競技場・第二球技場、東京武道館 大武道場・研修室いろは、大蔵第二運動場体育館・集会室、滝野川体育館、伊興地域体育館、中央公園野球場、戸田橋少年野球場 参加者：全競技 2,636名(指導者等含む) イ 東京都スポーツ少年団大会の開催 期 日：令和4年10月16日(日)、23日(日)、30日(日)、11月3日(木/祝)、6日(日) 場 所：駒沢オリンピック公園総合運動場各競技場、東京武道館、大田区多摩川緑地野球 実施競技：軟式野球・ミニバスケットボール・バレーボール・サッカー・卓球・バドミントン・剣道・空手道・少林寺拳法 参加者：120単位団 2,458名(指導者等含む) ウ 関東大会・全国大会等への派遣及び開催 ・関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会 期 日：令和4年7月17日(日)～令和4年9月19日(月) 場 所：神奈川県 実施競技：軟式野球・バレーボール・ミニバスケットボール(男女)・バドミントン・空手道 参加者：17単位団 指導者20名 団員84名 ・関東ブロックスポーツ少年大会(東京都主管) 新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止 ・全国スポーツ少年大会 期 日：令和4年8月4日(木)～7日(日) 場 所：鹿児島県立南薩少年自然の家、万世特攻平和祈念館(鹿児島県主管) 参加者：指導者1名、団員2名 ・全国スポーツ少年団競技別交流大会 ①全国スポーツ少年団軟式野球交流大会 期 日：令和4年8月4日(木)～7日(日) 場 所：奈良県 佐藤製薬スタジアム(奈良県立橿原公苑野球場)他 参 加：派遣チームなし ②全国スポーツ少年団バレーボール交流大会 期 日：令和5年3月24日(金)～27日(月) 場 所：静岡県 エコパアリーナ(静岡アリーナ)他 参 加：全千寿JVCスポーツ少年団(足立区) ③全国スポーツ少年団剣道交流大会 期 日：令和5年3月25日(土)～3月27日(月) 場 所：新潟県 謙信公武道館(新潟県立武道館) 参 加：中央区スポーツ少年団
	(4) 指導者協議会 ＜定款第4条第1項－2号、6号＞	① 指導者研究協議会の開催 期 日：令和5年2月19日(日)13:45～16:45 場 所：日本青年館ホテル 8階 カンファレンスルームブルー 内 容：スポーツ少年団の明るい未来を目指して 参加者：31名 ② 全国研究大会等への派遣 期 日：令和4年6月11日(土)～12日(日) 会 場：オンライン開催 参加者：指導者協議会委員長 ・ジュニアスポーツフォーラム 期 日：令和4年6月12日(日) 会 場：TKP 赤坂駅カンファレンスセンターまたは、オンデマンド 参加者：本部役員3名、指導協運営委員2名、地区本部指導者8名、事務局1名 ・関東ブロック指導者研究協議会 期 日：令和4年11月5日(土)～6日(日) 会 場：栃木県・ホテルニューイタヤ 参加者：5名
	(5) 東京都スポーツ少年団表彰 ＜定款第4条第1項－2号、6号＞	◆表彰式の開催 期 日：令和4年11月3日(木/祝) 会 場：東京武道館大武道場 永年功労者表彰8名、功労者表彰19名、永年活動優秀団体2団

区分	事業名	内容説明
6 スポーツを通じた被災地支援事業	(1) 東京2020大会被災地交流事業 ＜定款第4条第1項-9号＞	◆東京2020大会開催後の1年を経過した機会を捉えた「東京2020大会1周年関連事業」の一環として、平成23年度から実施してきた「スポーツ交流事業」の参加経験者を対象に、被災地(岩手県・宮城県・福島県)と東京の子供たちがスポーツを通じて交流する機会を提供することを目的に実施 ①福島県福島市と東京都八王子市の交流 ・日程:令和4年7月22日(金)～24日(日) ・場所:八王子滝ガ原野球場 他 ・種目:軟式野球 ・人数:83名(福島県福島市20名、東京都八王子市51名、運営役員12名) ②宮城県登米市と東京都東大和市の交流 ・日程:令和4年7月23日(土)～25日(月) ・場所:東大和市立第十小学校 他 ・種目:軟式野球 ・人数:91名(宮城県登米市36名、東京都東大和市32名、運営役員23名) ③福島県いわき市と東京都墨田区の交流 ・日程:令和4年7月30日(土)～31日(日) ・場所:錦糸公園野球場 他 ・種目:サッカー ・人数:135名(福島県いわき市15名、東京都墨田区90名、運営役員30名) ④福島県福島市・郡山市と東京都墨田区の交流 ・日程:令和4年8月12日(金)～14日(日) ・場所:錦糸公園野球場 他 ・種目:軟式野球 ・人数:123名(福島県福島市・郡山市37名、東京都墨田区56名、運営役員30名)
	(2) 東京マラソン2023(10km)高校生招待事業 ＜定款第4条第1項-9号＞	◆東日本大震災の被災地(岩手県・宮城県・福島県)の高校生を東京マラソン2023(10km)に招待し、被災地を支援 ・日程:令和5年3月4日(土)～3月5日(日) ・参加者(選手):43名(岩手県15名、宮城県28名、福島県0名)
7 総合型地域スポーツクラブの育成支援 ＜定款第4条第1項-2号、7号＞		◆生涯スポーツ社会の実現に寄与することを目的に、総合型地域スポーツクラブの育成支援に努める。 ・関東ブロッククラブネットワークアクション2022参加 (令和4年11月12日(土):つくば国際会議場中ホール) ・登録・認証制度申請手続説明会 (令和4年5月31日(火):日本青年館ホテルカンファレンスルームイエロー ※オンラインでも実施) ・総合型地域スポーツクラブ育成委員会 (①令和4年5月18日(水):JSOS3階会議室) (②令和4年9月20日(火):JSOS10階会議室) (③令和5年3月9日(木):JSOS3階会議室) ・総合型地域スポーツクラブ東京都協議会総会 (令和5年3月9日(木):JSOS3階会議室)

IV 自主事業の実施

区分	事業名	内容説明
1 広報活動の充実 ＜定款第4条第1項-9号＞		◆ホームページやツイッターを活用して、随時、情報発信を行った。 ・本協会の会報を年1回発行した。
2 トップアスリート観戦事業 ＜定款第4条第1項-3号＞		◆トップアスリート発掘・育成事業の第13期生達に、トップアスリート修了生の活躍が期待できるインターハイをはじめとする全国大会等を観戦させることで、高校進学後の自身のイメージを明確にさせ、競技へのモチベーションの向上につながると共に、トップアスリートになるための意識の醸成を図った。 ・日程:令和4年8月4日(木)～8月6日(土) 愛媛県新居浜市ほか ・内容:令和4年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ) 陸上競技及びウエイトリフティング競技を視察 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会場の入場制限により、当初予定から変更 ・参加者:トップアスリート第13期生26名のうち16名
3 スポーツ指導者研修会 ＜定款第4条第1項-4号、8号＞		◆公認スポーツ指導者の資質向上と活動促進のため、協賛企業の協力を得て、研究成果の講演及び研究協議、情報交換等を行った。 ・日時:令和5年2月26日(日)12:00～16:40 ・会場:北とびあ 7階 第2研修室 ・内容:講演Ⅰ「プレーヤーズセンタードなコーチング」 講師 泉 敏郎 氏(帝京平成大学人文社会学部 准教授) 講演Ⅱ「スポーツと栄養について」 講師 花谷 遊雲子 氏(管理栄養士、健康運動指導士) ・参加者数:72名

※ 以上のとおりであるが、令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書について、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。